



成川地区の中村公園

Councilperson

08



成川小学校6年
谷口 友月 議員

中村公園について

Q 成川地区の中村公園のトイレは、ドアがボロボロで中也暗く、ドアの所に段があり、使用しづらい状況です。そのため、小さな子どもからお年寄りまで使えるトイレにしてほしいです。

A 現在、紀宝町には、18の公園や広場が整備されています。中村公園のトイレですが、「今すぐ」というわけにはいきませんが、利用しやすく気持ちよく利用してもらうために、今後、改修ができないか検討していきます。

Councilperson

06



鵜殿小学校6年
中瀬古 大斗 議員

カメレンジャーについて

Q 紀宝町をもっと知ってもらうために、イベントを増やして、カメレンジャーの登場機会を増やすことを提案します。

A カメレンジャーは、コロナ禍でイベントが中止されているため、現在登場する機会がほとんどない状況です。コロナ禍が落ち着き、イベントが開催できるようにになれば、カメレンジャーが登場する機会も増えてくると思いますので、そのときはぜひ応援よろしくお願いします。

Q コロナの時期でもあるので、カメレンジャーを使ったマスクや、ウェットティッシュなどグッズを作って町民の人に配布するのいいと思います。

A カメレンジャーのグッズは、これまでうちわや缶バッジ、クリアファイルなどを作っていますが、コロナ禍ではマスクやウェットティッシュなどの衛生用品グッズを作り配布するのは、いい方法だと思いますので、検討していきたいと思っています。

総務課の仕事について

Q 町職員の採用試験は、主に、どんなことが判断基準なんですか。

A 職員の採用試験では、「教養試験」や、その職種ごとの「専門試験」という一般的な知識を問う試験を行い、その後、作文試験や面接試験を行っています。それらの試験を通して、町役場の職員として必要な知識を持ち、私たちの住む「紀宝町」を、安全で安心して豊かに暮らすことができる町にしたいという情熱をどれだけ持っているかなどを確認して、採用しています。

Q 選挙事務は投票所で時間や人員が必要になると思います。それを、できるだけ少なくする方法はありませんか。

A 選挙では「期日前投票」と「当日投票」などを行い、当日投票が終わったあと、開票作業を行い、票を集計しています。「期日前投票」は1か所ですが、「当日投票」は13か所の投票所を開設して投票を行っています。投票所の数を減らすと人員が減りますが、近くの投票所がなくなってしまうと、投票に行きづらい人も出てくるので、投票所を減らすことは難しいです。しかし、有権者の少ない3か所の投票所では、投票時間を1時間短縮するなどの工夫を行っています。開票作業は、すべての票を1か所に集め、行っています。少しでも早く、正確に開票作業を行うために、10年ほど前から、「分類機」という機械を導入し、確認作業を機械化したことによって、開票時間の短縮につながりました。今後、デジタル化がさらに進展すれば、さらに便利に、さらに携わる人員を少なくできると思います。

Councilperson

07



井田小学校6年
橋本 実侑 議員

Q 犬の登録という話を聞きましたがハムスターや鳥などのペットを登録する必要はありますか。

A ハムスターや鳥など一般的にペットショップで購入できるものは登録や許可などの必要がないものが多いですが、中には登録や飼育の許可が必要なものがあります。

Q なぜ犬だけ登録する必要があるんですか。

A 飼い犬の登録は、たいへん恐ろしい狂犬

病という病気からみなさんの安全を守るために「狂犬病予防法」という法律によって決められています。町では、法律に基づいて犬を飼っている人には、登録と狂犬病予防注射の案内を行い、啓発しています。

Q 子どもの人数を増やす取り組みはどんなことをしていますか。

A 町では、「安心して子どもを産み、育てられる紀宝」を目指し、「子どもは町の宝」をキャッチフレーズとして、妊婦さんや赤ちゃんの家庭訪問や子育て世代が集まれる子育て交流サロンの実施、子育て支援を行うファミリーサポートセンターの利用料の助成などを行い、少しでも紀宝町に住んで安心して産み育てられることができるように取り組みを進めています。また、学力や学習意欲の向上を図るため、幼稚園での預かり保育や、放課後サポースクールなどを行っています。今後も、さまざまな子育てに関する取り組みを進めていきます。

Councilperson

09



成川小学校6年
大植 心葉 議員